

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
聖隷こども発達支援センター和合 (聖隷こども発達支援センターからみあ和合)		2025年 3月 25日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点
				工夫している点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	21	0	施設全体を発達支援室として使っている。ホール、階段など広く使いたい時には安全の配慮をして使用している。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	12	<ul style="list-style-type: none"> ・基準以上を配置している。 ・指導員や保育士意外にも、看護師や機能訓練担当職員、嘱託医等が配置されており、基準を満たしている。 ・臨機応変に呼ばれたところに職員が行くように協力的体制がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援が必要なお子さんが複数おり、もう数名職員がいるとイレギュラーな対応に余裕が生まれる。 ・療育活動以外の業務も多く、基準配置以上の職員配置は必要だと感じる。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	20	1	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス毎に子どもに合わせて絵カードや写真カード、スケジュールやシールなどで視覚支援を行い、わかりやすい環境を整えるよう工夫している。 ・部屋名はこども達にとっても短くて覚えやすい。 ・各クラスに分かれておりこどもたちが過ごしやすい環境になっていると思う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・午睡しやすい光の調整 音の調整はまだ検討の余地はあると思う。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	8	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、チャレンジ和合さんがお掃除をしてくれている ・活動によって部屋を分けることができる。 ・清潔を保つことができるように、日々消毒や掃除などを行っている。 ・雨天時でも身体を動かすことのできる遊戯室があったり、休憩のために静養空間があったり場面によって過ごす空間を選ぶことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・湿気対策、棚やセラピーの下床掃除などの徹底。 ・おもちゃの整理整頓。 ・子ども用トイレは冷房等が届かなく、こども自身が汗をかいていてパンツやオムツなどが自ら履きにくい。履きにくい場合もある。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	20	1	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着くためにダンボールで個別のスペース作って対応している。 ・施設内に様々な遊びの空間が用意されており、計画的に使っている。 ・子どもの状態に合わせて臨機応変に空間を使えるよう、部屋の予定表を使って空き状況の確認や部屋の確保をしている。 		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	16	5	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月リーダー職員が現場の職員の声や業務遂行状況から問題点や課題について挙げ、児発管、所長と話し合う機会を持っており、業務改善に取り組んでいる。 ・取り組んだことを振り返り、PDCAサイクルを回しながら取り組んでいる。 ・目標は意識して活動できるように会議等で途中経過を話す機会がある。 ・業務改善のため意見出来る機会は確保されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・PDCAサイクルをやっていると思うが目標設定が定まっていなかったりどういう点で振り返りをしたらよいか分からない職員も多い。職員教育のため研修を進めていけるとよい。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20	1	<ul style="list-style-type: none"> ・秋にアンケートを実施。保護者・職員それぞれからの声をまとめ、職員間で共有している。その結果を踏まえ次年度の事業計画の検討をしている。 ・評価表の結果を職員全体で共有する機会がある。 ・保護者向け評価の振り返りを把握し、次年度の事業計画や、日々の支援につなげている。 		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17	4	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートや、目標参画の面接、業務分掌の振り返り、等行っている。 ・意見等を把握する機会が設けられているが、改善に繋がっているかは分からない。 ・職員の意見を聞き、必要に応じて上司に報告したり会議などで議題にあげたりしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・職員の意見を把握し業務改善のための検討はしているが業務負担の改善は難しい。 ・業務改善のために、いろいろな意見を発信するが改善には繋がっていないことがある。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	19	2	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は第三者の方をお迎えして、施設評価の結果についてご意見をいただいた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価はまだない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会はよく行われている。 ・子ども発達についての研修や、クラスの子どもの特性に応じた外部の研修も受講することができた。代表で受けた研修については毎月の職場会議内で共有している。 ・経験年数に応じた法人内研修や、施設内での研修が適宜開催されている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・保育や発達だけでなく、障害特性や障害理解につながる内容などの研修があるとよい。 ・研修の年間計画やねらいなど年度初めに周知してもらえると研修に向かいやすい。 ・今後は法令研修だけでなく、日々の療育につながるような研修を検討していくことが必要と考える。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	17	4	<ul style="list-style-type: none"> ・5領域に関連した支援計画を作成し、保護者に同意をもらっている。 ・12月の事業計画会議内で支援プログラム作成のための会議を開催した。今後年度末(2月中)にHPにて公表予定。 		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	20	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と普段からコミュニケーションを取り意向を確認している。 ・アセスメントでは保護者の思いを聞いたうえで支援計画を作成している。 ・アセスメントツールを使用し、アセスメントを行っている。また支援計画作成前に保護者に聞き取りを行い、ニーズの把握をしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・今出来ることを十分行っていると思う。専門職としてもう少し詳しい評価をしたいと感じる時がある。また、今行っている評価のやり方や解釈が個人の主観に頼るところがあるので人によってばらつきがある。もう少しすり合わせが必要と感じる。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画を作成するときはカンファレンスで本人、保護者の思いを反映した支援計画が作成できるように心掛けている。 ・支援計画は児童発達管理責任者以外にもクラス担任、機能訓練担当者を交えたカンファレンスを元に作成している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・支援計画の評価の精度を上げていく必要がある。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・参加できなかった職員には日々の療育のときに説明している。 ・カンファレンスではその利用児に関わるクラス職員と児発管が参加しており、支援の手立てなど具体的な意見を出し合いながら支援計画を作成している。 ・定期的な評価をし、計画に沿った支援を行っている。 		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	20	1	<ul style="list-style-type: none"> 標準化されたツールを利用し、アセスメントを行っている。 職員同士でこどもの様子を言語化して共有している。 フォーマルなアセスメントを実施したり、日々の行動観察を記録したり、振り返りを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> フォーマルなアセスメントと、インフォーマルなアセスメントの整合性をあげていけると良い。 職員間で個人差があるため、定期的な事例検討などを通して見直しは必要だと思ふ。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者とのコミュニケーション 利用児やご家族の状況によって家族支援や移行支援を行っている。 支援計画に支援に必要な項目が設定され、具体的な支援内容が明記されている。 	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	20	1	<ul style="list-style-type: none"> クラスごとに行っている。 クラス職員が立案し、毎月のクラス会議で共有、意見交換を行っている。 クラス会議を通して、立案したり共有したりしている。 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> 利用者に合うように工夫している。 毎月、クラス毎に活動の計画を立てて取り組んでいる。 職員同士の意見を尊重して出しやすいようにコミュニケーションを取る クラスの年間目標や、利用児の興味などの状況に合わせて活動内容を考えている。 こどもたちの発達に合わせた活動プログラムをたてるように意識している。また同じ活動でも内容や難易度をかえるようにしている。 活動プログラムの立案で悩んだ際にはどんな活動がいいか、様々な職員から意見を聞きながら行っている。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> サマリーの記載を職員全員に回るようにして支援計画の周知と意見を求めるようにしている。 活動によってはグループに分けて行うこともある。 支援計画を元に集団活動や、個別活動を実施している。 大人が足りないうちで少人数に分けて個別の時間を作るなど工夫している。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16	5	<ul style="list-style-type: none"> 開始前に全員集まり打ち合わせする時間はないが、口頭で伝えあったりしてできるだけ確認している。 毎朝段取りと活動のねらいを共有するようにしている。 概ね月案などを通して役割分担については確認している。支援開始前に時間が取れない場合はその都度声を掛け合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝の忙しさと担当者の未熟さからか、徹底されていないので、必ず行うような働きかけをしていく必要があると感じている。 役割が伝えきれていない時もあるため、伝える時間を作るようにしたい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15	6	<ul style="list-style-type: none"> 全員が集まりじっくり話をすることはできていないが、気づいた点があれば伝え合っている。 日案の記載時に意見を求めている。 時間が取れない際は隙間時間を見つけて支援の振り返りを行っている。 時間がない中で必要なことはコミュニケーションをしている。 	気づいたことを話すのみで、振り返りが十分にできていないことがある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	20	1	<ul style="list-style-type: none"> 日案の記載 毎日、1日の振り返りを行い、反省点やよかったところを記録するようにしている。 週に1回、支援を振り返り記録をしている。 訪問に行った時にはその日に記録を入力している 	毎月、または毎週の支援強化の事項を作り共有するなど、やり方を考えて行う必要があると感じている。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	18	3	<ul style="list-style-type: none"> サマリーの記載 週に1回評価を入力し、こどもの様子から今後の支援を見直している。 	
関係機関や保	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> クラス職員以外にも、専門的支援を実施している職員など専門職も参加してすすめている。 メンバーの調整 様々な職種の方が参加して 出席者には児発管、クラス担任、リハ担任など直接関わっている職員で、それぞれの資格を持つ他職種構成されているため専門的な視点からの検討がなされている。 児発管や、クラス担任、保育所等訪問担当者などが参加している。 	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関と関係はもう少し密に取れるといいなと思います。 運用を明確にして誰もができるようにしている。 連携の内容を更に職員に発信して欲しい 医療連携が必要な児童には必要に応じて医療と連携していると思う。また、関係機関に関しても必要と判断した際に連携をとっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との情報共有の機会は、増えてきていると感じているが、医療や教育機関との連携方法については、日程調整に難しさがあり機会確保には検討が必要と思われる。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> 必要時、担任と児発管にて園訪問に行き、園との連携に努めている。 日常の子どもの様子などを共有している。 かるみあでは保育所等訪問も開始され、より専門性の高い職員によるアセスメントや小集団でのより個別の支援方法を幼児園等に伝え、逆に集団での支援方法を聞く事で共有と理解を計っている。 出向いた時には詳しく話をするようにしている 	<ul style="list-style-type: none"> 必要時に並行連動先に訪問したり情報共有を行ったりしている。ただ訪問したことのある園とまだ訪問にいけない園があるため、計画的に行う必要はある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20	1	<ul style="list-style-type: none"> 就学への移行支援として、支援級や通級級に進むお子さんについてはかけしシートを作成し、学校との移行に向けた面談を行っている。 訪問していただいた時にできるだけそのままの様子をお話している。 かけしシートを活用し、かるみあでの支援方法の工夫点を今後の就学時に活かしていただけるよう説明させていただく機会を確保している。 かけしシートを利用して情報共有を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門的な連携もとる必要があるのではないかとと思う
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	16	5	<ul style="list-style-type: none"> 児発センターとして、どのように地域の事業所と連携を図っていくか、市のセンター同士足並みをそろえていくことができるよう話し合いを進めている。 サービス担当者会議などでそれぞれの様子を確認する。他の事業所からの訪問を受け入れて様子を見せたり説明している。 定期的な児童発達支援連絡会への参加において、より良い支援の実践のため事例検討会を行っている。 今年度は利用児の児発の併行先である事業所の方々が見学に来られ、対象の児について情報共有をし、連携を図った。 児発連絡会には参加をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的にどのような連携をとっているのか、わからない。
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は大学の先生に勉強会の講師として勉強会を開催してもらったり、療育のスーパーバイズを行ったりしていただいている。 情報を掲示してもらって参加している。 より個々の特性に合わせた適切な支援が行えるよう勉強会の内容の精査をし、年間計画を立て実践している。 今年度はたんかん関する外部研修を受講することができた。 外部講師からのオンラインの研修を受けたり、必要に応じて外部研修には参加したりしている。 		

護者との連携	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	17	4	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を頂いて参加している。 ・定期的に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かみあひの代表職員(特定にはなってしまう)が参加している。今後は、少しずつ参加できる職員が増えていくと良いと思う。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	18	3	<ul style="list-style-type: none"> ・近くにこども園があるので、交流しやすいと思います。 ・こども園と連携し、様々な場面で交流を図ることができるよう、取り組みを始めてきている。 ・交流は増えてきている ・今年度は併設されているこども園の園児との交流の機会があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接するこども園との交流の機会を少しずつ作っているが、全体で行えていない。また、地域における交流については、今後の課題と思われる。 ・今年度は併設のこども園と交流する機会もあるため、職員自身も意識して活動プログラムに取り入れていかないといけない。 ・併設されているこども園との交流は参加人数が限定されたり、期間があたりするので今後はもっと機会を増やしていけるといいと思う。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の送迎時に保護者と子どもの様子について話をしている。時間はごく限られているため。すべての保護者がそれで満足してくださっているわけではないと思う。 ・必ず声掛けをしてコミュニケーションを取り声をかけやすい環境を作る。 ・子どもの送迎時やコドモンを活用して担任職員から日頃の様子はお伝えしている。また、課題に関しては、カンファレンス開催により目標設定を明確にし保護者に説明、同意を頂いている。 ・送迎時や連絡帳で子どもの様子を伝えている。 ・その日にできたことを伝えたり、気になる様子を伝えたりしている。また家庭での様子を聞きくことで共通理解がもてるように意識している。また必要に応じて面談を実施している。 ・送迎時に話をするようにしている。 	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14	7	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、情報提供をした事例があれば教えてほしい。どんな研修をどのような家族に紹介したのか等。 ・ペアレントプログラムはまだ実施できていないが、保護者に関わり方について一緒に考えたり支援している。また保護者への講演会やイベントなど情報提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会などの情報は提供している。 ・今回、就学に向けて先輩(ババママ)の意見を聞く機会を作る事ができたが、ペアトレに関しては今後の課題。 ・ペアトレの研修を受講したいが受講できる機会が少ないと感じている。 ・ペアプロはまだ実施していないが、ペアプロの観点から保護者に助言ができるようにしている。多くの職員がペアプロを知る機会があるとよい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・説明用紙などを使って説明している。 ・契約時や法改正のときに書面と口頭にて説明を行い、同意を頂いている。 ・契約時に説明をしている。 	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保護者とのコミュニケーション ・計画書作成にあたり事前に保護者の意向を聞き取り計画書に反映している。 ・利用児や保護者の方の思いを取り入れて支援計画の作成をしている。 ・作成前に保護者に聞き取りを実施し、意向を確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの最善の利益を考えたときに保護者のニーズとそれが拮抗するときがあると思う。そのような時に、保護者にどのように伝えていけるとよいか、とても悩んでしまう。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の思いを聞き反映できるようにして計画を立てる ・児発管から説明と同意を行っている。 	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・面談は積極的にやっていると思う。 ・各クラス担当職員が、保護者の思いを把握した際、一人で抱えこまず、すぐに情報共有したり必要な時間取って保護者の思いを聞いてくれる。 ・日々の保護者とのコミュニケーションを意識して関わっている。 ・気になるケースや配慮が必要な家庭にはこちらから、積極的にアプローチしていると思う。 ・保護者からの相談があったときだけでなく、今後の意向を確認したり、保護者の様子から必要だと判断したりした際には面談を実施している。 ・親子行事には保護者交流できるようにプログラムに取り入れている。 ・行事の中で保護者が交流できる場を意図的にもてるようにしている。 	
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	16	5	<ul style="list-style-type: none"> ・親子行事では保護者交流できるようにプログラムに取り入れている。 ・保護者の交流する機会は設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい児の支援についてはまだできていない。 	
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	20	1	<ul style="list-style-type: none"> ・できることできないことを検討し、迅速に対応している ・情報が入ったらすぐ職員同士で共有している ・保護者の方から相談があった場合にはなるべくその日のうちに対応できるようにしている。 ・すぐに日程を決め面談日を設定したり、送り迎えの際に時間をつくったりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からは、必要時相談を受ける事はあるが、迅速(保護者にとってのタイミング)になっていないケースもあると思う。 	
41	定期的に通信等が発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	20	1	<ul style="list-style-type: none"> ・コドモンにてお便りや、連絡などをタイムリーに忘れることなく発信することができている。 ・コドモンの活用ができている ・保護者に伝えたいことはタイムリーにお知らせするようにしている。 ・コドモンを活用し、緊急な連絡事項やかみあひの活動報告として写真の掲載等を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月に1回、写真販売を活用することで普段の様子をみてもらう機会になっていると思う。保護者にとって十分なものがどうかはわからない。 	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフで個人情報を守られていないと感じた時は注意している ・保護者からみえるところに名簿をおかない、こどもに関する連絡事項が書いた付箋などはらないなど個人情報の扱いは気をつけている。ただ、個人情報の取り扱いに関しては職員間で温度差があると感じる。 		
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	20	1	<ul style="list-style-type: none"> ・聴覚障害のある保護者に対して筆談で伝えるようにしたりと対応している。 ・保護者によって伝え方、言い方を変えている。こどもに関しても必要に応じてイラストなどを使用して、特性に合わせた配慮を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・十分配慮しているつもりだが、こどもや保護者にとって配慮されていると感じているかは、不明。 	

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	11		<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民への事業所公開の機会はない。起震車体験など地域住民にも参加できるような行事やイベントの開催について今後検討が必要 ・地域に開かれた施設になることが今後の課題。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	19	2	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事例をもとにイメージしやすいように訓練に取り入れている。 ・月1回の防災訓練や緊急時対応訓練を実施している。 ・新年度に説明を行ったいるが具体的なマニュアルの内容に関しては周知されていない。訓練は行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へのマニュアル周知まではできていない
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	19	2	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月避難訓練を実施している ・BCPに基づく災害訓練は、今後実施予定と思われる。 ・毎月、火事や地震を想定した避難訓練を行っている。 ・BCPを策定し、その訓練を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まだまだ職員全体に周知しきれていないので継続して周知が必要
	47	争前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なフェースシートの更新にて把握。 ・フェイスシートなどで状況を確認したり、必要に応じておくすり手帳などを見せてもらったりして確認を行っている。 	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーのある子供のいるクラスには細かい食材内容を表記してある献立表を渡して確認してもらっている ・医師の指示書に基づいて対応を行っている。 	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を作成し、会議などで周知している。 	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の様子をコドモンで流している。 ・防災訓練の様子をコドモンにて配信している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どこまでの連携があれば保護者がみるみに預けて安心と思って頂けるかの意見の収集は必要。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	19	2	<ul style="list-style-type: none"> ・みんな、ヒヤリハットはしっかりと取り組んでいると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットの認識がまだまだ低いのもっと表在させていく工夫が必要 ・アクシデント報告書の内容共有はできているが、ヒヤリについては不十分だと思う。 ・事故については報告書を作成し、共有をしているが、ヒヤリハットに関しては共有したり、書面で残したりはしていない。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	21	0	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待や不適切保育について、職員間で毎月話し合っている。特に対応が難しいとされる子への対応は複数人で関わるなど、一人が抱え込まないようにしている。 ・毎月出されていく自分の事として考えさせられる。 ・虐待に繋がってしまう不適切な対応になってしまうかもしれない事例については、毎月の会議にて共有し、対応方法についても事例検討会を開催している。 ・虐待の研修を受けたり事例検討などを通してグループワークを行っている。 	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	18	3	<ul style="list-style-type: none"> ・該当のお子さんはいないが、もしあったらそのように対応する。 ・職員全体で周知して考える機会を作る ・現状、身体拘束の必要な子どもはいないため事例がない。 ・今のところ、身体拘束を行っていない。 		